

# 第15回糸魚川市教育委員会定例会会議録

(平成30年12月26日)

- 1 日時 平成30年12月26日(水) 午後4時から
- 2 会場 糸魚川市民会館 3階 会議室
- 3 出席委員 教育長 田原 秀夫  
教育長職務代理者 永野 雅美  
委員 楠田 昌樹  
委員 蘆本 修一  
委員 谷口 一之
- 4 欠席委員 なし
- 5 委員以外の出席者  
教育次長兼こども課長 井川 賢一  
こども課 課長補佐 磯野 豊 係長 室橋 淳次  
係長 田代 正人  
こども教育課 課長 石川 清春 参事 泉 豊  
課長補佐 松村 伸一 指導主事 猪又 力  
生涯学習課 課長 小島 治夫 課長補佐 磯貝 恭子  
文化振興課 課長 磯野 茂 課長補佐 木島 勉  
博物館 館長補佐 中村 淳一  
市民会館 館長補佐 猪股 和之  
書記 こども課主査 仲谷 貴子
- 6 報告  
報告第 30号 各課・機関所管事項報告について
- 7 協議  
協議第 6号 糸魚川市立中学校に係る部活動の方針(案)について
- 8 会議録署名委員の指名 1番 永野委員
- 9 傍聴者 なし

田原教育長	これより第 15 回教育委員会定例会を開催する。
田原教育長	報告第 30 号各課・機関所管事項報告について、事務局の説明を求める。
磯野課長補佐	こども課 所管事項報告
泉参事	こども教育課 所管事項報告
磯貝課長補佐	生涯学習課 所管事項報告
木島課長補佐	文化振興課 所管事項報告
磯貝課長補佐	図書館 所管事項報告
中村館長補佐	博物館 所管事項報告
猪股館長補佐	市民会館 所管事項報告
田原教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
鷹本委員	12 月 8 日に開催された早寝早起きおいしい朝ごはん市民公開講座についてである。私は都合により話を聞くことができなかったが、出席した人の話しではとても良い講座であったと聞いている。糸魚川市がこれまで力を入れてきた生活リズムの重要性をわかりやすく講演いただいたとのことであった。同時に、駐車場が狭く、非常に困ったとの話も聞いている。これまでは市民会館やビーチホールまがたまでの開催が多かったと思うが、今後の企画の際には、駐車場も含めての会場設定をしてほしい。
	11 月 28 日に開催された児童虐待防止研修会についてであるが、研修会の受講対象者はどのような人か。年間の実施状況について教えてほしい。
磯野課長補佐	市民公開講座についてであるが、駐車場ではご不便をおかけした。今後の実施にあたっては、参加者の交通の面も配慮して会場を決めたい。
室橋係長	児童虐待防止研修会は、要保護児童対策地域協議会で毎年開催しているものである。今回は、性的虐待についてであったが、毎年、テーマを決めて研修を行っている。研修会は、市内小中学校、幼稚園、保育園、民生・児童委員などに案内をしている。
楠田委員	こども教育課の特別支援教育研修会であるが、年末の押し迫った時期の開催でなくてはならなかったのか。もう少し、日程に配慮が必要ではないか。
泉参事	講師の日程都合により、12 月 28 日の開催となったようだ。今後は配慮するように担当に伝える。
楠田委員	博物館の来館の教育関係団体の中に木浦保育園がある。木浦保育園ではゆめいっぱい体験保育事業を活用して事業を行ったとのことであったが、このような事業を活用している園は他にもあるか。
磯野課長補佐	ゆめいっぱい体験保育事業は、私立保育園において特色のある

	<p>保育をしてもらうための補助制度で今年度から始めたものである。すべての園から補助申請があったわけではないが、他の園でどのような取り組みを行っているかを紹介する中で、制度の周知を図りたい。</p>
谷口委員	<p>生涯学習課から報告のあった社会同和教育市町村巡回研修会についてであるが、都合が悪く出席できなかったが、どのような内容であったのか。</p>
小島課長	<p>上越教育事務所の主催であった。上越市の元教員の講演があった。体育館で行われたが、大勢の方が出席していた。公開授業は、全教室を開放して、参加者の皆さんに見ていただいたようだ。</p>
永野教育長職務代理者	<p>先日、徹底反復学習飯塚大会に出席させていただいた。</p> <p>陰山先生の講義、模擬授業を拝見し、ショックを受けるくらい当市との取組状況の違いを感じさせられた。やるからには、徹底して行うことの必要性、中途半端な取り組みからは成果が生まれないと感じた。</p> <p>市として、陰山メソッドに取り組むと決めて取り組んでいるからには、徹底して取り組むことを市教委から学校長にしっかりと伝えてほしい。</p> <p>陰山メソッドの取組みから3年が経過するが、今後、どのようにするのかについても、考えていく必要がある。</p>
石川課長	<p>市としては、陰山メソッドに取り組むことには変わらないので、人事異動に伴い新たに糸魚川市へ来られる校長、教員にも説明をしていきたい。即、学力向上に反映されるのではなく、陰山メソッドにより集中力や忍耐力などの非認知型能力を伸ばすことで学力向上につながることを説明していきたい。</p>
靄本委員	<p>来年度のスタートにあたっては、今年度までの取組みの成果と課題をしっかりと評価したうえで、新たに取り組んでほしい。</p> <p>漢字検定、英語検定についても、受験者数や受験級などの状況を把握した上で、今年度の成果と課題をしっかりとまとめて、来年度の取組みに活かしてほしい。</p>
永野教育長職務代理者	<p>今後の大学受験には各種検定試験も関係してくると聞いている。その部分もしっかり伝えて受験者数の向上に努めてほしい。</p>
靄本委員	<p>生涯学習課から報告のあった学校応援隊会議ではどのような話し合いが行われたか。</p>
磯貝課長補佐	<p>中学校区に配置している9名の地域コーディネーターで会議を行った。テーマは人材の確保や学校応援隊とコミュニティスクールとのルール作りについて意見交換を行った。また、年度末には学校応援隊だよりを発行するため、その掲載内容についても検討を行っている。</p>

田原教育長

協議第6号は糸魚川市立中学校に係る部活動の方針(案)についてである。この件については、本日の定例会の前に開催された総合教育会議でも説明をさせていただいたので、説明は省略させていただく。また、総合教育会議での協議を受け、委員のお考え等を改めてお聞かせいただきたい。

楠田委員

特に活動日や活動時間については、中学校4校で足並みを揃えるということが必要ではないか。子どもたちや教員のためにも、同一の取り扱いとしてほしい。学校長裁量を認めることで、中学校4校間に差異が出ないことを希望する。

谷口委員

部活動と社会体育との関わりも大切だと思う。教員の負担を軽減する意味でも指導の手伝いができないかという視点で改めて考えていかなければならない。

部活動が学校になかったとしても、中体連の全国につながる大会にも可能な限り子どもたちを出場させ、希望をかなえてあげたいとも思う。社会体育団体や地域の指導者が学校と協力して、スポーツで夢をかなえる子どもたちを応援できる仕組みを作ることが必要である。

永野教育長職務代理者

子どもたちにとって、中学校での部活動は大きな関心事のひとつである。その中で、この方針の策定はありがたい。

やはり、部活動はこの方針で良いのだが、社会体育との兼ね合いが出ると、また、子どもたちや保護者が迷ってしまうのではないか。社会体育の指導者と部活動の顧問がしっかり連絡を取り合って、うまく連携してほしい。

齋本委員

自分自身の経験においても部活動で得たものは非常に大きく、部活動は中学校生活においても大事な位置付けにある。しかしながら、現在の子どもたちや教職員の状況から、部活動の維持が困難になってきているところも事実である。

その場合、子どもたちが地域のスポーツクラブのような形で、思い切って自分のやりたいことをやり、それを応援する指導者がいるという状況が作れないか。いわゆる総合型地域スポーツクラブである。体育協会などの関係機関と連携し、総合型地域スポーツクラブの設立に向けて検討を進めてほしい。

田原教育長

今後どのようにこの方針を学校、生徒、保護者に伝えていくのか、事務局の説明を求める。

石川課長

この協議をもって、正式な方針とし、来年4月から取り組んでいきたい。また、策定した方針は、各中学校長から教職員に周知徹底してもらい、保護者に対しては4月のPTA総会などで説明をしてもらうこととしている。

市民に対しては、教職員の働き方改革と合わせて、広報おしらせ版に記事を掲載したり、方針をホームページに掲載することで

谷口委員	周知していきたい。
石川課長	この方針とは別に、市全体で行われるような大会を広報等で市民にお知らせできないか。陸上や球技種目などの大会を多くの人に観戦してもらえるようになるのではないか。 主催者が小体連、中体連になるので協議していきたい。

16：50 終了

#### 10 次回教育委員会定例会開催日

平成31年1月23日（水）午後2時より